



かわらべ

59,11

No.335

発行 新潟県柏尾市長 編集 柏尾市総務課 (0258) 52-2151

とちぎ三五号昭和五十九年十一月十日発行

毎月十日 一回発行



あかねチーム
2年連続の優勝
—ママさんバーボール—

第三回柏尾市婦人バーボール親善リーグ戦の決勝トーナメントが、十月二日(火)市総合体育館で行われ、あかねチームが決勝戦で入東エンゼルズを破り、昨年に続き連続優勝を飾りました。五月から行われていたこの大会には市内から十チームが参加し、熱戦を繰り広げました。なお、三位にはかりやだチームが入りました。



各市のふところぐあいを話し合う

来年度の予算編成時期を控えた10月25日(木)、本市を会場に県内20市の財政担当課長会議が開催されました。会議には、県地方課長を講師に招き、地方財政の現状と国の施策の動向などの講演を聞きました。このあと各市の財政運営の諸問題について熱心な話し合いが行われました。



市商工会創立30周年記念式典開催

柏尾市商工会創立30周年記念式典が10月20日、市総合体育館を会場に関係者約200人が集まり開かれました。この席で商工会功労者及び永年勤続優良従業員、技能検定合格者の表彰が行われました。

防犯は社会環境 の浄化から

「考えて／ほくらが育つ環境を」の統一標語のもとに十月十一日から二十日まで全国防犯運動が行われました。今回の運動の重点目標は「少年を取り巻く社会環境の浄化」ということで本市でも運動初日の十一日、市長をはじめ、関係者が市立白山保育所で、父母や園児に風船や鉛筆を配り防犯意識の高揚を呼びかけました。



十月二十六日(金)、秋の火災予防運動の一つとして、市内の消防団員百三十名が参加してちょうど一ヶ月が火災予防運動を行われました。「火の用心、お願ひしまふーす」と大きな声で市中を行進し、家庭や道行く人に火災予防を呼びかけました。

今月の表紙



大きく育て梅の木よ

市は、このほど市制施行30周年を記念して塩谷運動広場、西谷運動広場など市内各公共施設に、桜や梅の木など約160本を記念植樹しました。この植樹には、老人クラブや青年会の方たちの積極的な協力をいただきました。

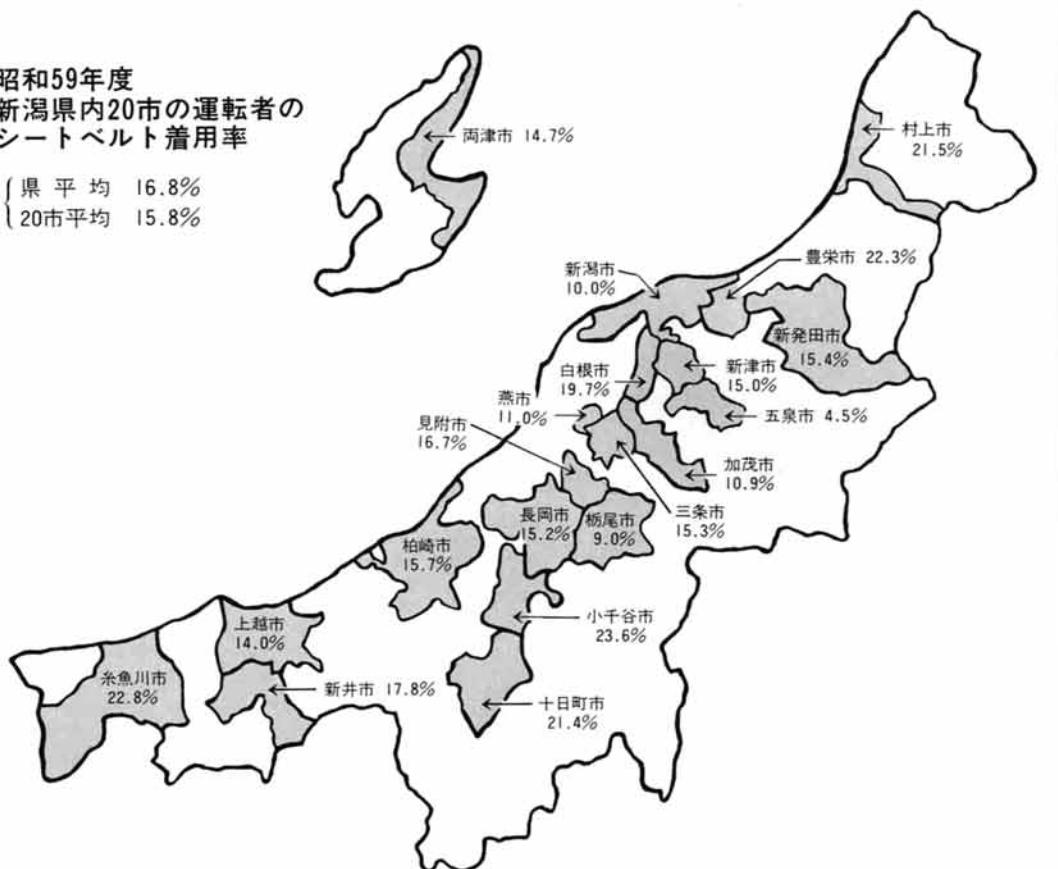
着用の効用を再認識

丸和織維㈱専務
倉茂 喜作さん

全職員が安全運転の向上をめざす

シートベルト・ヘルメット着用モデル事業所の指定を受けた当社では、みんなに着用するよう進めています。私も今まで、ヘルメットを付けるのが面倒だったのでバケツを五十℃にしていました。しかし、最近の事故の状況で、ヘルメットさえかぶっていたら大事故にならずに済んだなどとよく耳にします。私ももう一度ヘルメットを買って着用し、自分自身を守ろうと思っています。

シートベルト・ヘルメット着用モデル事業所の指定を受けた当社では、みんなに着用するよう進めています。私も今まで、ヘルメットを付けるのが面倒だったのでバケツを五十℃にしていました。しかし、最近の事故の状況で、ヘルメットさえかぶっていたら大事故にならずに済んだなどとよく耳にします。私ももう一度ヘルメットを買って着用し、自分自身を守ろうと思っています。

栃尾市農協・総務部長
佐藤 清一さん昭和59年度
新潟県内20市の運転者の
シートベルト着用率{ 県平均 16.8%
20市平均 15.8% }本市のシートベルト着用率は
わずか9パーセントです

20市中でも最下位クラス

今年の七月から、市と栃尾警察署では、シートベルトとヘルメットの着用推進について、市交通指導車による市内巡回広報をはじめ、交通指導所を設置して、運転者や歩行者に街頭指導やリーフレットの配布など、交通安全について呼びかけてきました。

これら一連の運動の中で、新潟県指定による県内のシートベルト・ヘルメットの着用率調査を実施しましたが、その結果がまとまりましたのでおらせします。

上記の新潟県内の二十市の地図をご覧ください。栃尾市のシートベルト着用率は、わずか九割。つまり百人の運転者中、たった九人しか着用していない、という結果がでました。県内二十市中でも最下位クラスとなっています。

ヘルメットの着用は八十二割でした。

シートベルト・ヘルメットの着用効果については、すでにご承知のことと思いますが、いざ着用となると「面倒くさい」とか「自分が大丈夫だろう」という気持ちから、着用の低下になっているものと思われます。

市は、今後とも各関係機関の協力を得ながら、交通指導所の設置をはじめ交通安全の啓発をはかり、シートベルト・ヘルメットの着用推進運動を行っていきますので、車や二輪車で外出する際には、シートベルト・ヘルメットを着用し、交通事故を起さないよう安全運転につとめましょう。

命は投げ出すものでなく、守るものです

「めんどうくさい」「運転にくい」「かっこ悪い」こんな理由をつけてシートベルトを着用しない人、また「髪形がくずれる」「あつい」「めんどくさくて」とヘルメットをかぶらない人のなんと多いことでしょう。

これでは万一一の場合助かる命をみすみす投げ出しているようなものだと思われてなりません。六〇メートルもがけ下へ転落した乗用車から、一本のシートベルトに助けられかすり傷ひとつなく脱出した若い二人連れは、口をそろえて「これからもしっかりシートベルトをします」と言つていました。

このような事例は数多くあります。ヘルメットも万一小切な頭を守ってくれるのです。「めんどうくさい」「かっこ悪い」と思つてもやはりシートベルト・ヘルメットはしっかりと付けたいものです。

第11回
栃尾市交通安全市民大会誓いも新たに交通安全
シートベルト強しい味方です
ヘルメット

交通事故のない明るく住みよい栃尾市にすることを願つて開催している「栃尾市交通安全市民大会」も今年で第十一回を迎え、十月六日(土)多数の市民参加により盛大に開催されました。

誓いのことば

「交通事故のない明るく住みよい栃尾市」これは、わたくしたちの心からの願いです。この願いを実現するため、次のことを実践することを誓います。

一、わたくしたちは、家庭・職域・地域で交通安全の話しあいをもち、交通事故にあわないよう、交通事故をおこさないよう努めます。

二、わたくしたちは、子ども・お年寄りをはじめ、愛の一聲をかけあいます。

三、わたくしたちは、お互いにゆずりあいの心をもち、安全運転に努め、飲酒運転・速度違反・一時停止違反などはしません。させません。

四、わたくしたちは、シートベルト・ヘルメットの着用を実行します。

五、わたくしたちは、一人ひとりが正しい交通ルールとマナーを身につけ実行します。

昭和五十九年十月六日

第十一回栃尾市交通安全市民大会

栃尾警察署・交通課長
渡辺 耕三さん交通事故ゼロを願い
1,400人の市民が参加

式典では、交通安全功労者、交通安全作文文・ポスター入賞者の表彰、受賞作文の朗読、最後に交通安全の誓いのことばを参加者全員で唱和して閉会しました。
(誓いのことばは左記に掲載)

市は、去る十月六日(土)交通事故ゼロを願つて、第十一回栃尾市交通安全市民大会を行いました。大会は、交通安全推進関係団体をはじめ、市内の保育所(園)のトキちゃんクラブの子どもたちなど約千四百人が参加。県警音楽隊や栃尾東小・栃尾南小鼓笛隊、栃尾中学校や栃尾東小・栃尾南小鼓笛隊など大会を盛り上げるために参加しましたが、当日はあいにくの雨となり、ため市中パレードは急きよ中止となり、行かれました。

死亡事故ゼロの日よ、いつまでも続け

柘尾南小 6年
斎藤 恭司くん

推進委員のはりあいを奪わないで

柘尾東小 5年
笠井江里子さん

私が交通安全推進委員になつてから、七か月がたちました。死亡事故ゼロの数字が何十、何百とふえてくると私たち委員はほつとします。また、地元や、市外から来たドライバーの人たちも、あの数字を見て勇気づけられると思います。

私は、これからもこの仕事にほこりを持ち数字で市民のみなさんに、交通安全をよびかけていきたいと思います。

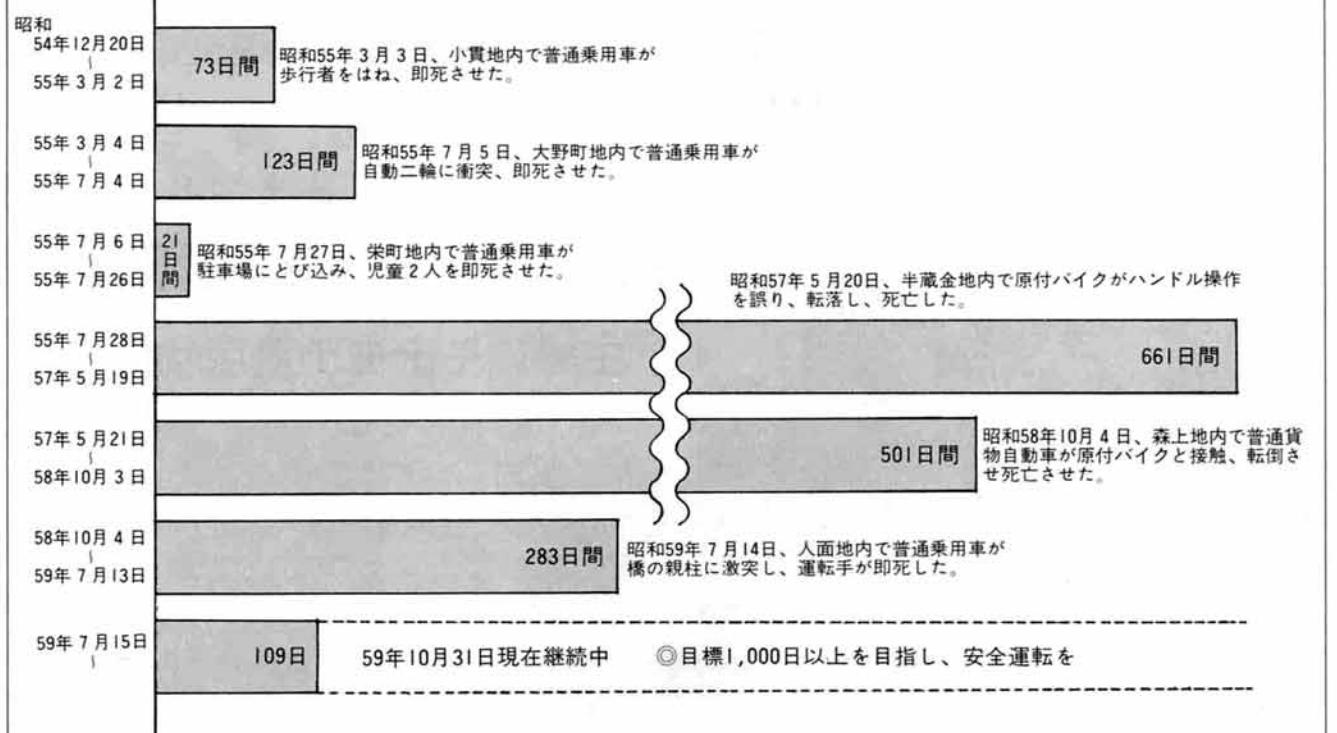
僕は、死亡事故ゼロの日のカードを入れ替えるとき、「今日はみんなが交通道徳を守ってくれるかな」とか「自分の命を大切にしてくれるかな」と考えながら入れています。ゼロの日が増えるたびにうれしくて「推進委員になつてよかったな」と思うと、だんだん胸がいっぱいになります。

生」を必ず頭におき、安全運転をかけてください。

が交通道徳を守るために、安全運転を

心がけてください。

柘尾市における交通事故ゼロの日のグラフ



歩行者も運転者もゆずり合う心で

新潟県内の交通事故は、やや減少傾向にあります。柘尾市内では、十月末現在、交通事故発生件数は、七十二件（昨年同月比五件七件の増）、死者一人（昨年同月比同数）、傷者八十三人（昨年同月比二人、二件の増）で、増加傾向にあります。

今年七月の交通事故は、発生後も、死亡事故にはいたらないまでも、重大事故発生が相次いでおります。またお年寄りや子どもなどの交通弱者や二輪車による事故も増加しておりますので、歩行者をはじめ運転者も交通ルールを守って、悲惨な交通事故に遭わない注意いたしましよう。

市民のみなさんもご存知のとおり、現在、市内の道路は、刈谷田橋の架け替え工事、下水道工事、流雪溝工事が行われていることに工事が実施されて、大変ご迷惑をおかけしておりますが、お互いが譲り合って、交通事故防止に協力をお願いいたします。

市交通指導員として街頭指導に立って感じたこと、ぜひ皆さんから守つて欲しいことをいくつかあげてみました。歩行者、特に児童は親と手をつないで歩くこと、お年寄りは道路横断の際、左右の安全を確かめ、急がず余裕をもつて行動すること、自転車は大人・子供ともに一時停止、安全確認等交通ルールを必ず守ること、二輪車、特に最近は、手軽に乗れるミニバイクが急増してきました。

二輪車は、走行が不安定であり必ずヘルメットを着用すること、自動車については、シートベルトの着用を心がけ、思いやりとゆとりのある運転をお願いしたいと思います。

交通安全はみんなの共通した願いです。みんなの力で交通事故を減し、明るい柘尾市にしたいのです。

幼児のうちにしっかりと交通指導を受けた子どもたちは学校へ上つてもきちんと交通ルールを守ります。

交通ルールを守って、安全教育は幼児のうちから始めます。

守ることは、大人も子どもも知識の習得「知る」ことを更に進め実践する「できる」というだけでなく将来の良き社会人を育成する第一歩になつてほしいと思っています。

お互いがゆずり合いの豊かな心をもち、市民一人ひとりが交通指導員であり、管理者であるように頼っています。

市交通指導員として街頭指導に立って感じたこと、ぜひ皆さんから守つて欲しいことをいくつかあげてみました。歩行者、特に児童は親と手をつないで歩くこと、お年寄りは道路横断の際、左右の安全を確かめ、急がず余裕をもつて行動すること、自転車は大人・子供ともに一時停止、安全確認等交通ルールを必ず守ること、二輪車、特に最近は、手軽に乗れるミニバイクが急増してきました。

二輪車は、走行が不安定であり必ずヘルメットを着用すること、自動車については、シートベルトの着用を心がけ、思いやりとゆとりのある運転をお願いしたいと思います。

交通安全はみんなの共通した願いです。みんなの力で交通事故を減し、明るい柘尾市にしたいのです。

市交通指導員として街頭指導に立って感じたこと、ぜひ皆さんから守つて欲しいことをいくつかあげてみました。歩行者、特に児童は親と手をつないで歩くこと、お年寄りは道路横断の際、左右の安全を確かめ、急がず余裕をもつて行動すること、自転車は大人・子供ともに一時停止、安全確認等交通ルールを必ず守ること、二輪車、特に最近は、手軽に乗れるミニバイクが急増してきました。

